

新町制施行40周年記念 作文コンクール結果

新町制施行40周年を記念し、町では町内の小中学生を対象に、町の将来についての期待や夢を題材とした作文を募集しました。作品の応募数は389点で、いずれの作品も町の担い手にふさわしいものばかりでした。入選者と作品の一部を紹介します。

入選者

- 横芝小学校**
 5年 井上 奈美
 5年 渡辺 加恵
 5年 春山万由子
 5年 實川 真純
 5年 伊藤 志保
 6年 齊藤 有子
 6年 行木 博美
 6年 行方亜沙美
 6年 越川 亮
 6年 鶴澤 啓行
- 大総小学校**
 5年 実川 桃子
 5年 鈴木千映美
 6年 加瀬 真弓
- 上堺小学校**
 5年 浅野 奈月
 5年 永吉美寿世
 6年 伊藤 歩美
- 横芝中学校**
 1年 伊藤 祐子
 2年 市原 寿恵
 2年 野田麻理絵
 2年 廣瀬 梓
 3年 伊藤 寿子
 3年 越川 郁美

未来の横芝



大総小学校 6年
加瀬真弓さん

私が今から望む二十一世紀の横芝町は、緑の木が少なくならないようにです。花や草もいっぱいあって、事故もなくて人間が安全にくらせるような。私たちの中には、「タイムスリップして二十一世紀が見たい」と、いう人はいっぱいいるけど、私は行きたくも、見たくもありません。それは見てしまったらつまらないからです。この先どんなことがおこるのかが、楽しみだと思ふ。知ってしまったら人間達はどうするのか。

二十一世紀の私のくらしは――。朝おきてまどをあけると花いっぱい、げんかんを、出たらちゃんと道があって人がちゃんと通れるような、車もスピードを落として安全な運転をしています。まわりも自然で、ただ木をたおしてゴルフ場や、マンションとかはあまりいっぱいつくってほしくありません。学校に着くと階段で上に行くんじゃないでエレベーターで「スライ」と行ける。学校をでるとすべりだいでヒューと家へ着ける。坂田公園の池に魚がいっぱいいて、近くに、プールがあって、スポーツ公園もある。その中には、

サイクリングができるコースもあって自転車もかりられる。テニスコートもある。あと坂田池がもっと大きくなって、ボートがあつて乗れる。そうすればまわりの景色を見ながら楽しめる。水族館は池の中にあつて階段で行けるようになって水族館の中だから魚がいっぱい見えるのです。なかにはペンギンや、あしか、ビーバーなんているわけないか。でもいたらいいな。坂田池のしばふでキャンプしたり、山登りもしてみたいです。あと歴史博物館があつて中に入ると歴史の人と話ができたらいいなあ。でも悪い人だったらこわい。昔の人の顔を見たら。悪いけど笑ってしまうかも。映画館もある。

次はお店のことです。ふつうのお店もあるんだけどなかには、自分で作ったものが売ってもらえるの。あと、小さな子供達でも働ける小さなお店が自分で作れたらいいな。自分専用の店とか。よくケンカする人とか仲間はすれにする人とかたくさんいるけど未来はそういう人はいないでほしい。でもケンカするほど仲がいいというけどね。言いたいことは、みんなの心です。横芝町は自まんでできる町になってほしいです。未来の二十一世紀がとっても、とっても楽しみです。どうかわるのかな。ロボットもいたりして……。ロボットを自分のでしにしたなら、毎日がぐらく気分。でも、そうしたら未来の人間がだらけてしまふから、ロボットは反対です。でも二十一世紀にロボットがいな

住みよい横芝町にするために



横芝小学校 5年
伊藤志保さん

横芝町、四十才のおたんじょう日おめでと。四十年って、うと、ちょっと想像がつかないけれど、うちのお父さんと、ほとんど変わらないんだなあと思いました。

私が望むことは、三つあります。まず一つ目は、緑豊かな自然あふれる町になってほしいと思ひます。昔の人達が、まもり続けてきた栗山川、あの川を、毎年、さげが安心して帰ってこられるようなきれいな川にしておきたいです。さげだけでなく、ほかの魚達も、どの川よりも、栗山川を気に入ってくれるように、いつまでも、いつまでも、きれいな川に守りつづけたいです。

それから、横芝町は、千葉市や東京都にも近いけれど、千葉や東京のように、工場やビルだけの町にはなつてほしくないです。やっぱり、横芝町は、横芝町で、いながらしさを出して、田んぼや畑をいつまでも残してほしいです。私